一茶ゆかりの里四季の俳句会　（令和八年七月～九月分）

選者　高山俳壇　松本　孝夫　先生

特選　天　梅雨晴や緑の匂ふ志賀の峰　　中野市　久保　広二

志賀高原は緑林の高原であり梅雨晴れの空気は緑の香りが満ちている。

特選　地　夏めくや風全室を通り抜け　　愛知県　武山　明彦

夏は空気が熱くなり家の中も暑くてあらゆる戸を開けて外の空気を入れて過ごしやすくなる。

特選　人　きらきらと夜空を照らす花火かな　　高山村　浅井　智美

打上げ花火は近くだと厳しい音もするが遠方の花火は音も優しいが、夜空を見るときらきらと照らしている。

入選　雨あがり毛虫ころがす下校児よ　　群馬県　竹渕　洋子

入選　夏霧や涼しさ見える林かな　　群馬県　相川　芳夫

入選　七夕の竹に幼き祈りあり　　群馬県　滝澤　照香

入選　風吹かず風鈴鳴らす幼子や　　高山村　横田　祐一

入選　夏めくや雲に飛び込むホームラン　　長野市　浦野　スミ子

入選　墓参り孫に両腕支えられ　　群馬県　竹渕　てる子

入選　蝉の声まだ眠い目を開ける朝　　群馬県　道辻　葉月